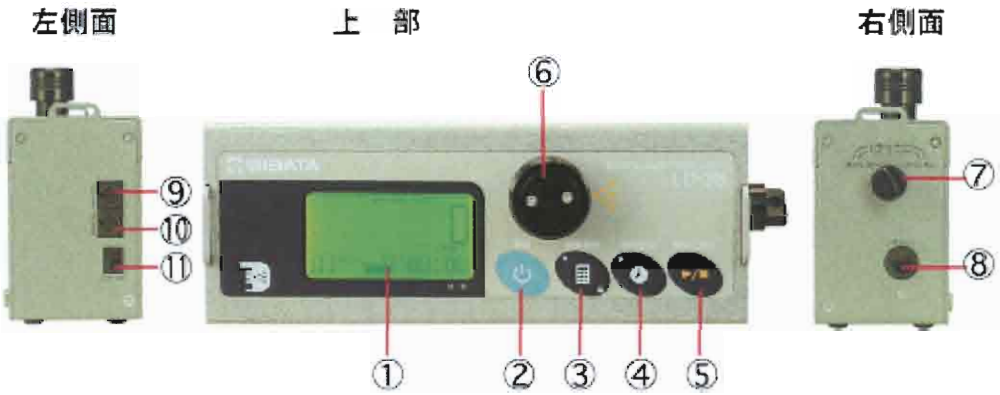
環境測定機器・科学機器の製造販売
SIBATA

Contents
製品情報
- 製品カタログ検索 検索ページへ
技術サポート情報
修理・部品 中止情報
FAQ
- ビックアップ製品
- 会社案内
- 採用情報
- お問合せ
- リンク
- ディーラーの皆様
在庫照会(SIBATA CCS)
お知らせの部屋
プライス情報

デジタル粉じん計

デジタル粉じん計 “ダストメイト”LD-3B型・LD-3C型 簡易取扱説明書

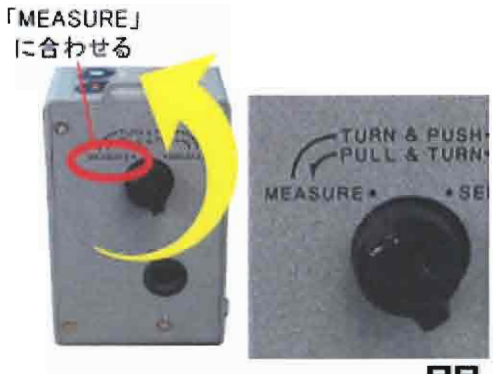
■各部の名称



①液晶ディスプレイ
②電源スイッチ
③質量濃度スイッチ
④時間設定スイッチ
⑤開始/停止スイッチ
⑥採気口各部の名称
⑦測定/感度合せ切替えノブ
⑧排気口
⑨USB/RS-232C出力(LD-3B型のみ)
⑩パルス出力・電圧出力
⑪外部電源コネクター各部の名称

1.【BG(バックグランド)測定】

※下記手順の 1～2 を実行してから電源を入れてください。



1.

⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」がMEASURE(メジャー)の位置にあることを確認します。
※SENSI ADJになっている場合、ノブを引出し、左にしてMEASUREの位置にします。

2.

⑥の「採気口」のカバーが閉じられていることを確認します。
開いている場合はカバーを上げて閉じます。

3.

電源を入れて1分待ちます。
(内部を清浄にするためです)

4.

④の「時間設定スイッチ」を押し、BGを表示させます。
（数回押していくとBGと表示されます）

5.

⑤の「開始/停止スイッチ」を押し、6秒待ちます。
6秒後に自動的にバックグランド測定が終了します。

▲ページTOP

2.【感度合わせ（スパンチェック）】

1.

⑥の「採気口」のカバーが閉じていることを確認します。（スライドして上げます）

2.

⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」を時計方向に回し、SENSI ADJ（センシアジャスト）の位置で押し込みます。

3.

ディスプレイにSPAN CHECK(スパンチェック)と表示ていることを確認します。

4.

⑤の「開始/停止スイッチ」を押し1分待ちます。
(測定中は表示の数値が増えていきます)

5.

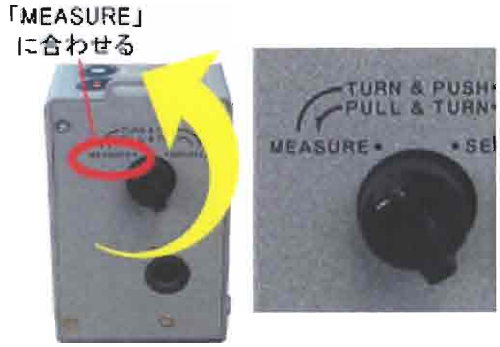
※1分後、数値か粉じん計固有のS値(標準散乱板値)、またはその近辺の値で止まり、計測が終ります

※感度合わせとは、この計測で値をS値に合わせるとを意味しますが、ズレの補正は測定器自身が行いすので、計測後、手動で値を合わせ込む必要はありせん。

▲ページTOP

3.【測定】

※下記手順の 1～2 を実行してから電源を入れてください。



1.

⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」を引き出し、左(反時計)方向に回してMEASURE(メジャー)の位置にします。

2.

⑥の「採気口」のカバーを開きます。
(スライドさせ下げます)

3.

④「時間設定スイッチ」を数回押しすと測定時間(例えば1分)を設定をします。
※測定時間を1分にする場合、ディスプレイ表示を「BG」から「01min.」にします。

4.

⑤の「開始/停止スイッチ」を押します。

～1分後測定終了～

5.

粉じん計の測定値はcpm（1分当たりのカウント値）で表すことになっていますので、表示された値を測定時間で割ってcpm単位に直します。
※1分測定で42countと出た場合は42cpmという結果になります。
この値に質量濃度換算係数K値を掛けると粉じん濃度をmg/m^3の単位に変換できます。
事前にK値を測定器に入力しておいて測定後③質量濃度スイッチを押すとmg/m^3の単位で結果を表示できます。

⑤の「開始/停止スイッチ」を押します。

▲ページTOP

› プライバシーポリシー › ご利用規約 › ENGLISH

Copyright © SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD. All rights reserv